

報道関係者各位

東奈良遺跡での銅鐸鑄型の発見から50周年 茨木市立文化財資料館でテーマ展 『銅鐸をつくる—弥生時代の鑄造技術—』を開催

茨木市教育委員会は、茨木市立文化財資料館（茨木市東奈良三丁目12-18）で、9月30日（土）から11月27日（月）まで、東奈良遺跡銅鐸鑄型発見50周年事業として、第39回テーマ展「銅鐸をつくる—弥生時代の鑄造技術—」を開催します。

昭和48年に東奈良遺跡で銅鐸鑄型が発見されてから、今年で50年を迎えました。同遺跡から出土した完全な形を保った銅鐸鑄型は国内でも唯一の例であり、銅鐸鑄型をはじめとした鑄造用具は、日本列島における弥生時代の青銅器鑄造を考えるうえで極めて重要な資料です。

本展では東奈良遺跡を中心に大阪平野北部の鑄造用具を展示し、弥生時代における銅鐸鑄造技術に焦点をあてた展示を行います。展示品は当館で保管する国・重要文化財である銅鐸鑄型や銅戈鑄型、ガラス勾玉鑄型、ふいごの羽口（送風管）など東奈良遺跡から出土した資料を中心に50点ほど展示します。

また、50周年を記念し公益財団法人辰馬考古資料館と企画連携し、同館学芸員 青木政幸氏によるご講演をはじめとして、当館学芸員による銅鐸に関する連続講座や現代の工人（和銅寛）による大阪湾型銅戈・小銅鐸の公開鑄造、ミニチュア銅鐸鑄造体験などのイベントを開催します。

また、楽しみながら学べる館内クイズラリー（景品あり）も開催します。



1号流水文銅鐸鑄型出土状況

■テーマ展の概要

- ・展示名 第39回テーマ展「銅鐸をつくる—弥生時代の鑄造技術—」
- ・開催日時 令和5年9月30日（土）～11月27日（月）、午前9時～午後5時
- ・休館日 火曜日、11月4日、24日
- ・会場 茨木市立文化財資料館1階展示室（入館無料）
- ・主催 茨木市教育委員会

【本件に関する問合せ先】

茨木市教育委員会教育総務部歴史文化財課
茨木市立文化財資料館 電話：072-634-3433